

# 大垣市立中川小学校の実践

## 公開授業(研究発表会)

公開学年	単元名	本時の主な言語活動
特別支援学級	わくわくはりんご広場	輪投げや魚釣り等のゲームを楽しみながら、ゲームの種類や回数について尋ねたり答えたりする。
第1学年	おかしやさんで おかいもの	欲しい外国のお菓子の色や形について尋ねたり答えたりする。
第2学年	わくわくクイズラリーをしよう	「虫めがねクイズ」、「シルエットクイズ」、「ブランクボックスクイズ」を楽しみながら、色や大きさなどについて尋ねたり答えたりする。
第3学年	Unit1 This is for you.	友達に渡すカードを作るために、四角形や星形などの形やその数について尋ねたり答えたりする。
第4学年	Unit9 This is my day.	自分の家での年末年始の過ごし方を伝え合う。
第5学年	Unit7 Welcome to Japan.	自分の紹介したい日本文化や四季のよさについて、できることや自分の感想を伝え合う。
第6学年	Unit6 Let's think about our food.	相手が食べたいように、食材の産地、栄養素、その食材が使われている料理などについて伝え合う。

## 単元を通して児童に伝えたいメッセージ

教材分析を行う際には、他の教科・領域等において児童が学習した内容と、本単元で扱う題材との関連性を整理することが大切です。

### 【第5学年社会科の教科書の単元】

- 「4 これからの食料生産とわたしたち」
- 日本の食料生産をめぐる課題
  - わたしたちの食生活の変化と食料生産

### 【外国語科の教科書の題材】

- オリジナルカレー
- 日本の食料自給率
- 日本と世界の食料事情
- 食品ロス

### 【第6学年 英語科学習指導案より】

本単元では、フードロス問題を知った子どもたちが、その解決に向け、まずは自分たちの給食の残量を減らすことが大切であることに気付く。そして、食材のよさを広め、食べたいと思ってもらえるように紹介する活動を行うことで、問題の解決につなげていく。

### 【小学校学習指導要領 解説 外国語編 「指導計画の作成と内容の取扱い」】

オ 言語活動で扱う題材は、児童の興味・関心に合ったものとし、国語科や音楽科、図画工作科など、他の教科等で児童が学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をすること。

## ここが秀逸!

**これまでの研究の成果を踏まえつつ、常に見直し・改善を図る校内研究推進が素晴らしい。**

- 中川小学校は、昭和63年の大垣市教育委員会指定「国際理解教育推進校」に始まり、30年以上の外国語教育の歴史があります。その中で築き上げていた研究の成果をただ継承するのではなく、今求められている資質・能力や教育現場の変化を踏まえながら、目の前の子どもたちのためになる研究を進めようとしてきました。
- 今年度特に大切にされてきたのは、本当に伝えたい思いを伝えられる言語活動に取り組みさせること、中間交流において児童が伝え合った内容を共有できる発問をすること、そして、英語が専門ではない先生方にも分かりやすい指導案を提案することでした。これらのことについて、研究推進委員会を中心に、全職員で取り組まれてきました。

## 児童同士が伝え合った内容等を学級全体で共有する中間交流

児童が言語活動に取り組んだ後には、内容面と言語面について振り返りを行う中間交流を位置付けることが効果的です。その際、特に内容面の交流を行うときには、本時の課題についてどんな内容をお互いに伝え合ったのか、なぜその内容を伝えなかったかについて、全体で共有することが大切です。



### 第3学年の中間交流

#### 【第3学年 英語科学習指導案より】

言語活動後の Sharing Time を2回行う。1回目では、児童が集めてきた形について、なぜその形やデザインなのかを尋ねることで、相手のことを考えて形を集めて来る必要があることを再確認する。

### 第4学年の中間交流

#### 【第4学年 英語科学習指導案より】

Sharing time では、まず内容面で「自分と全く違ってたよ」「すごいなと思った」仲間について取り上げる。「どんなことを言っていましたか。」と英語表現を確かめ、よさを広める。

### 【小学校学習指導要領 解説 外国語編

#### 「第1節 外国語科の目標(2)」

外国語教育における学習過程としては、①設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解する、②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる、③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う、④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う、といった流れの中で、学んだことの意味付けを行ったり、既得の知識や経験と、新たに得られた知識を言語活動で活用したりすることで、「思考力、判断力、表現力等」を高めていくことが大切になる。

## 英語が専門ではない先生方にも 分かりやすい指導案

単元の目標、評価規準等が記載された単元指導計画に加え、右のような本時の指導案を作成しました。ここでは、本時の目標、板書例、予想される児童の発話例、本時における主な指導・援助が記載されています。指導案に示す内容を精選し、英語を専門としない授業者にも分かりやすい指導案にしました。

単元名: Let's think about our food. 単元の目標(6/7年): 話す内容のよさを十分に伝えるために、自分と他の食材を比較し、味や産地の違いに気づかせることができる。

本時の取組例

予想される児童の発話例

A: Hello. Let's eat soybeans.  
Do you like soybeans? → OK. Look! (タブレットを指して話す)

This is konjac.  
I eat konjac.  
Soybeans are in the red group.  
It's their origin.  
I eat konjac on New Year's Day.  
It's sweet and yummy.  
And you can enjoy soybean sauce and so on.  
I eat soybean. Thank you.

本時における主な指導・援助

- ① Let's sing a song. 産地の紹介「It was from...」の表現の練習を行う。
- ② Today's aim について、AllとVEIのスキットから、質問の答え方について考えさせ、自分のことと結びつけて話すことの大切さについて対話させる。
- ③ ④のAとBについては、対話している児童には相手児童の基本的な発話を伝える英語をモデルとする。基本的な発話について対話している児童は「Do you see? OK. over there?」など、自分のことと結びつけて話すことと対話させる。
- ⑤ Sharing timeでは、誤った発音(発音)を伝えるだけでなく、食に関する知識や食生活の話題など、自分自身に関心を持って話している児童の発話を引き出し、学習に促す。また、全員でそのよさを共有することで、自分のことと結びつけて話すことがより興味を持って伝えたいと思えるきっかけになることと期待される。
- ⑥ Today's homework については、質問の答え方から気づいたことを題材にして、発表をもちょうど話せるように振り返り対話を行う。

大垣市立中川小学校ホームページ

<https://www.ogaki-city.ed.jp/nakasyo/>

・本サイトには、「研究構想図」、「ファンタイム」、「学習指導案」等が掲載されています。

